

# 子どもも使えるスマホとの付き合い方



スマートフォン等のインターネット接続機器の普及によって、最近では子どもたちも自分のスマートフォンや携帯電話を持ち、他人と連絡を取り合ったり、調べ物をしたり、ゲームなどをすることが多くなりました。

一方で、有害情報が溢れるサイトにアクセスし、健全な成長を阻害されるような情報からトラブルに発展するケースも絶えません。

町教育委員会が11月から12月にかけて行った「いじめに関する意識調査」の中に、スマホに関する項目があり、近年は町内でも所持率は増加し、特に低年齢化してきている特徴があります。

こうした情報機器は子どもたちが将来、必ず使いこなす必要があるツールですが、子どもたちのトラブル防止とともに、正しい使い方とネットリテラシーを身につけるため、今一度正しい使い方や使う際のルールを見つめ直してみませんか？

## ■町内小中学校 学年別のケータイ・スマホ所持率

	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
平成30年11月	19%	21%	29%	50%	70%	68%
令和元年11月	26%	19%	31%	54%	81%	72%

## ■小学校でケータイ・スマホを持っている児童

年度	所持率		親との約束		フィルタリング	
			ある	ない	ある	ない
平成26年	約2割	その内	約9割	約1割	約5割	約5割
平成27年	約2割		約7割	約1割	約6割	約4割
平成28年	約2割		約9割	約1割	約6割	約4割
平成29年	約2割		約9割	約1割	約7割	約3割
平成30年	約2割		10割	0割	約8割	約2割
令和元年	約2割		約7割	約3割	約3割	約7割

所持率は高学年になるほど増加し、近年は低年齢化の傾向が顕著なものの、親との使用に関わる約束事やフィルタリングの利用については、全体的に横ばいか減少傾向との結果も出ています。

犯罪やウイルス被害などに遭う子どもの多くは、『フィルタリングを行っていません』。

また、ネットは現実社会の関係性と変わらないという自覚がなく、社会性が未熟なまま、児童がSNS等で周囲や知らない相手と接し、引き起こされるトラブルもあります。

「約束事」と「フィルタリング」は、子どもを守るとともに、成長を助ける最も重要な手段です。

## ■中学校でケータイ・スマホを持っている児童

年度	所持率		親との約束		フィルタリング	
			ある	ない	ある	ない
平成26年	約5割	その内	約7割	約3割	約7割	約3割
平成27年	約6割		約8割	約2割	約6割	約4割
平成28年	約7割		約7割	約3割	約5割	約5割
平成29年	約8割		約7割	約3割	約5割	約4割
平成30年	約6割		約5割	約2割	約5割	約3割
令和元年	約7割		約8割	約2割	約6割	約4割

※誤回答または白紙を含むため、割合の合計が10割にならない場合があります。